



今年は台風などの自然災害による大きな被害はありませんでしたが、災害はいつ発生するかわかりません。いざという時の備えは万全に願います。

今後も住民の皆さんが参加できるような訓練を企画してまいりますので、ぜひご参加ください。

10月7日 健康福祉大学校入学式

青森県老人クラブ連合会が開催する健康福祉大学校が、今年度は当市で開講されることになり、入学式に出席しました。

平均年齢80歳、最高齢は90歳以上の方も参加しておられるのですが、皆さんの明るく元気な姿に驚きました。

今回受講される皆さんにおかれましては、地域活動のリーダーとして、明るい長寿社会の実現のため、ますますご活躍いただきたいと思えます。



10月10日 五所川原市社会福祉大会

第63回五所川原市社会福祉大会が行われ、社会福祉の向上に貢献された総勢40個人・5団体が表彰されました。受賞者の皆さん、誠におめでとうございます。

市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会づくりを目指し、このコロナ禍にあっても、人と人とのつながりが途切れることがないように、引き続き地域福祉の向上に取り組んでまいります。

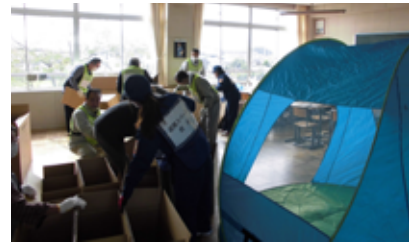


10月11日 災害対策実働訓練

10月11日、コロナ禍における避難所運営の方法について検証するため、防災訓練を実施しました。

訓練では、消防団による避難誘導や、受付での検温、避難スペースの設営などを通して、感染症対策に配慮した避難のあり方について確認することができました。

今回の訓練で得られた課題を活かし、災害対策の充実を図ってまいります。



交通事故皆無300日を達成し、県警察本部長より表彰

9月24日に当市管内において交通死亡事故皆無300日を達成したため、10月8日、五所川原市交通安全対策協議会（佐々木孝昌会長）に感謝状が、五所川原市交通安全母の会連合会（宮崎妙子会長）に表彰状が県警察本部の相馬交通部長より手渡されました。

同連合会の宮崎会長は「外出自粛などの影響もあると思うが、今後は交通死亡事故皆無500日を目指して引き続き交通安全活動に励みたい」と話しました。



表彰された佐々木会長(前左)と宮崎会長(前中央)

野球で全国大会へ



全国大会出場を報告した金木クラブの選手の皆さん

第16回東北選抜学童軟式野球大会本戦大会で準優勝の成績を収め、12月25日から徳島県で行われる、第8回野球のまち阿南少年野球全国大会に出場する金木ク

ラブの選手の皆さんが10月20日、市長を表敬訪問しました。金木クラブは青森予選リーグ4を1位で通過し、本戦でも順調に勝ち進みました。決勝戦で相馬学童野球クラブ（福島県）と対戦し、善戦しましたが4-5で敗れ準優勝となりました。

主将の荒関友雅さん（金木小6年）は「積極的な気持ちを忘れず、打って勝つ野球をしたい。一戦必勝の気持ちで頑張りたい」と抱負を話しました。

また、11月13日、五所川原市体育協会も「金木クラブ初の全国大会では、悔いの無いように戦い、今後の野球人生に生かして欲しい。健闘を祈ります」とエールを送りました。